

(別紙4(2))

事業所名 グループホームふれあい

目標達成計画

作成日: 令和 5年 11月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護記録や申し送りノートに記録されておらず、口頭伝達される情報がある。職員によって、書く内容の自身が異なる。	ご利用者様の身体状況、体調や話して下さった内容など詳しく記入ができ、職員間情報共有していく	記録の研修(なにをどう書くか?)を行う。申し送りノートの活用の重要性を改めて、説明していく。	12ヶ月
2	25	ご利用者様の身体変化や残存機能の把握は職員によって理解が違い、すぐに変化に気づく職員・気づかない職員と職員によってばらつきがある	職員それぞれがご利用者様の変化に気づき、その人らしい暮らしができるよう提案できるようになる	会議や申し送りなどでご利用者様の現在のADLや支援内容を共有する。ご利用者様の行動・表情・会話等違和感あれば、職員間がすぐ相談し合える環境作りをしていく	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。